

教職大学院設置に係る設置計画履行状況報告書

1 調査対象大学院の概要等

(1) 設置者

国立大学法人群馬大学

(2) 大学名

群馬大学大学院

(3) 大学院本部の位置

〒371-8510
群馬県前橋市荒牧町4-2

(4) 管理運営組織

職名	認可時	変更状況	備考
理事長	(フリガナ) 氏名 (現職就任年月)	(フリガナ) 氏名 (現職就任年月)	
学長	スズキ マモル 鈴木 守 (平成15年12月)	タカタ クニアキ 高田 邦昭 (平成21年4月)	任期満了(21)
研究科長	マツダ タダシ 松田 直 (平成16年10月)	コイケ ケイイチ 小池 啓一 (平成20年4月)	任期満了(20)
専攻長			

(注) 『(3) 大学院の位置』は、大学院の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。

『(4) 管理運営組織』の「変更状況」欄は、変更があった場合のみ記入し、併せて「備考」欄に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成20年度に報告済の内容 → (20)

平成21年度に報告する内容 → (21)

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

(5) - ① 調査対象研究科の名称, 定員

調査対象学部等の 名称 (学位)	認可時の計画			備 考
	修業年限	入学定員	収容定員	
教育学研究科 教職リーダー専攻 (P) 教職修士 (専門職)	2年	16人	32人	[児童生徒支援コース] 児童・生徒の学習や生活面に関して、心理学の諸理論及び関連分野の知見からの科学的、分析的な深い理解に基づいて、指導方法を立案し、実践できる教員の養成を目的とする。 [学校運営コース] 学校運営全体に関して、教育学の諸理論及び関連分野の知見に基づいた幅広い視野と学校の社会的機能に関する深い理解のもとに、学校運営の実践的指導力のある教員の養成を目的とする。
児童生徒支援コース	2	8人程度	16人程度	
学校運営コース	2	8人程度	16人程度	

(5) - ② - (a) 調査対象研究科等の入学者の状況 (概要)

(児童生徒支援コース)

区 分	対象年度		平均入学定員 超過率	備 考
	平成20年度	平成21年度		
A 入学定員	8人程度	8人程度	1.18倍	
志願者数	11	11		
受験者数	11	10		
合格者数	10	10		
B 入学者数	10	9		
入学定員超過率 B/A	1.25	1.12		

(学校運営コース)

区 分	対象年度		平均入学定員 超過率	備 考
	平成20年度	平成21年度		
A 入学定員	8人程度	8人程度	0.81倍	
志願者数	7	6		
受験者数	7	6		
合格者数	7	6		
B 入学者数	7	6		
入学定員超過率 B/A	0.87	0.75		

(5) -③- (a) 調査対象研究科等の在学者の状況 (概要)

(児童生徒支援コース)

学年 \ 対象年度	平成20年度	平成21年度	備 考
1年次	10	9	
2年次		6	
計	10	15	

(学校運営コース)

学年 \ 対象年度	平成20年度	平成21年度	備 考
1年次	7	6	
2年次		7	
計	7	13	

- (注) 1 (5) -①の「備考」欄には、各コースが目指す人材育成像を簡潔に記入してください。
 2 (5) -②, ③は、コース毎に記入してください。
 3 「平均入学定員超過率」欄には、開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。入学定員超過率については、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入し、平均入学定員超過率も同様の方法としてください。

(5) - ② - (b) 調査対象研究科等の入学者の状況（学生の区分毎）

（児童生徒支援コース：平成20年度入学者）

区 分		幼稚園	小学校	中学校	高 校	特別支援 学 校	小 計	備 考	
現 職 教 員	群馬県 教育委員会	派遣制度		2	1		3		
		修学休業制度		1			1		
		勤務継続							
		その他							
		小 計		3	1			4	
	××市 教育委員会	派遣制度							
		修学休業制度							
		勤務継続							
		その他							
		小 計							
	私立学校	派遣制度							
		修学休業制度							
		勤務継続							
		その他							
		小 計							
	計	派遣制度		2	1			3	
修学休業制度			1				1		
勤務継続									
その他									
合 計			3	1			4		

学部 新卒者	教員免許 の有無	有	2	5	6	3	6	
		無						
		小 計	2	5	6	3	6	

（児童生徒支援コース：平成21年度入学者）

区 分		幼稚園	小学校	中学校	高 校	特別支援 学 校	小 計	備 考	
現 職 教 員	群馬県 教育委員会	派遣制度		2	2		4		
		修学休業制度							
		勤務継続							
		その他							
		小 計		2	2			4	
	群馬大学	派遣制度							その他1名 附属学校教員の研修制度を 活用 1名（幼稚園）
		修学休業制度							
		勤務継続							
		その他	1					1	
		小 計	1					1	
	私立学校	派遣制度							
		修学休業制度							
		勤務継続							
		その他							
		小 計							
	計	派遣制度		2	2			4	
修学休業制度									
勤務継続									
その他		1					1		
合 計		1	2	2			5		

学部 新卒者	教員免許 の有無	有		4	3	3	4	
		無						
		小 計		4	3	3	4	

(学校運営コース：平成20年度入学者)

区 分		幼稚園	小学校	中学校	高 校	特別支援 学 校	小 計	備 考
現 職 教 員	群馬県 教育委員会	派遣制度	2	4			6	
		修学休業制度						
		勤務継続						
		その他						
		小 計	2	4			6	
	群馬大学	派遣制度						その他1名 附属学校教員の研修制度を 活用 1名(小学校)
		修学休業制度						
		勤務継続						
		その他	1				1	
		小 計	1				1	
	私立学校	派遣制度						
		修学休業制度						
		勤務継続						
		その他						
		小 計						
	計	派遣制度	2	4			6	
修学休業制度								
勤務継続								
その他		1				1		
合 計		3	4			7		

学 部 新 卒 者	教員免許 の有無	有						
		無						
		小 計						

(学校運営コース：平成21年度入学者)

区 分		幼稚園	小学校	中学校	高 校	特別支援 学 校	小 計	備 考
現 職 教 員	群馬県 教育委員会	派遣制度	1	4	1		6	
		修学休業制度						
		勤務継続						
		その他						
		小 計	1	4	1		6	
	××市 教育委員会	派遣制度						
		修学休業制度						
		勤務継続						
		その他						
		小 計						
	私立学校	派遣制度						
		修学休業制度						
		勤務継続						
		その他						
		小 計						
	計	派遣制度	1	4	1		6	
修学休業制度								
勤務継続								
その他								
合 計		1	4	1		6		

学 部 新 卒 者	教員免許 の有無	有						
		無						
		小 計						

(5) -③- (b) 調査対象研究科等の在学者の状況(学生の区分毎)

(児童生徒支援コース:平成20年度在学者)

区 分		幼稚園	小学校	中学校	高 校	特別支援 学 校	小 計	備 考	
現 職 教 員	群馬県 教育委員会	派遣制度		2	1		3		
		修学休業制度		1			1		
		勤務継続							
		その他							
		小 計		3	1		4		
	××市 教育委員会	派遣制度							
		修学休業制度							
		勤務継続							
		その他							
		小 計							
	私立学校	派遣制度							
		修学休業制度							
		勤務継続							
		その他							
		小 計							
	計	派遣制度		2	1			3	
修学休業制度			1				1		
勤務継続									
その他									
小 計			3	1			4		

学部 新卒者	教員免許 の有無	有	2	5	6	3	6	退学者4名 新採用で教員になる者3名 仕事との両立が困難な者1名
		無						
		小 計	2	5	6	3	6	

(児童生徒支援コース:平成21年度在学者)

区 分		幼稚園	小学校	中学校	高 校	特別支援 学 校	小 計	備 考	
現 職 教 員	群馬県 教育委員会	派遣制度		4	3		7		
		修学休業制度		1			1		
		勤務継続							
		その他							
		小 計		5	3		8		
	群馬大学	派遣制度							その他1名 附属学校教員の研修制度を 活用 1名(幼稚園)
		修学休業制度							
		勤務継続							
		その他	1				1		
		小 計	1				1		
	私立学校	派遣制度							
		修学休業制度							
		勤務継続							
		その他							
		小 計							
	計	派遣制度		4	3			7	
修学休業制度			1				1		
勤務継続									
その他		1				1			
合 計		1	5	3			9		

学部 新卒者	教員免許 の有無	有	1	6	5	5	6	
		無						
		小 計	1	6	5	5	6	

(学校運営コース：平成20年度在学者)

区 分		幼稚園	小学校	中学校	高 校	特別支援 学 校	小 計	備 考	
現 職 教 員	群馬県 教育委員会	派遣制度	2	4			6	その他1名 附属学校教員の研修制度を 活用 1名(小学校)	
		修学休業制度							
		勤務継続							
		その他							
		小 計	2	4			6		
	群馬大学	派遣制度							
		修学休業制度							
		勤務継続							
		その他	1				1		
		小 計	1				1		
	私立学校	派遣制度							
		修学休業制度							
		勤務継続							
		その他							
		小 計							
	計	派遣制度	2	4			6		
		修学休業制度							
		勤務継続							
		その他	1				1		
		合 計	3	4			7		

学 部 新 卒 者	教員免許 の有無	有						
		無						
		小 計						

(学校運営コース：平成21年度在学者)

区 分		幼稚園	小学校	中学校	高 校	特別支援 学 校	小 計	備 考	
現 職 教 員	群馬県 教育委員会	派遣制度	3	8	1		12	その他1名 附属学校教員の研修制度を 活用 1名(小学校)	
		修学休業制度							
		勤務継続							
		その他							
		小 計	3	8	1		12		
	群馬大学	派遣制度							
		修学休業制度							
		勤務継続							
		その他	1				1		
		小 計	1				1		
	私立学校	派遣制度							
		修学休業制度							
		勤務継続							
		その他							
		小 計							
	計	派遣制度	3	8	1		12		
		修学休業制度							
		勤務継続							
		その他	1				1		
		合 計	4	8	1		13		

学 部 新 卒 者	教員免許 の有無	有						
		無						
		小 計						

- (注) 1 (5) - ② - (b), ③ - (b) は, コース毎, 年度毎に記入してください。
 2 学部新卒者で教員免許を複数所持している場合は, 該当する校種(幼稚園~特別支援学校)の区分すべてに記入し, 小計には実数を記入してください。
 3 現職教員で, 自費で通っている学生等がいる場合は, 適宜欄を設けて記入してください。
 4 退学者がいる場合は, 在学者の状況の備考欄に人数及び具体的理由を記入してください。

2 授業科目の概要

(1) 授業科目表

授業科目の名称	配当 年次	単位数又は時間数			授業形態			専任教員配置					備 考						
		必修	選択	自由	講義	演習	実験 実習	教授	准教授	講師	助教	助手							
共通 科 目	① 教育課程の編成及び実施 に関する領域																		
	教育課程編製の課題と実践	1	2				○			1									
	カリキュラム開発の課題と実践Ⅰ	1	2				○		1	1									
	② 教科等の実践的な指導 方法に関する領域																		
	学習支援の課題と実践Ⅰ	1	2				○		1	1									
	教育評価の課題と実践Ⅰ	1	2				○			2									
	③ 生徒指導及び教育相談 に関する領域																		
	児童・生徒理解の課題と実践Ⅰ	1	2				○		1										
	児童・生徒指導の課題と実践Ⅰ	1	2				○		2										
	教育相談の課題と実践Ⅰ	1	2				○												
	④ 学級経営及び学校経営 に関する領域																		
	特別活動指導の課題と実践Ⅰ	1	2				○		2										
	学校経営の課題と実践Ⅰ	1	2				○		2										
	⑤ 学校教育と教員の在り方 に関する領域																		
	教育環境学	1・2		2			○												
	教員の倫理	1・2		2			○												
	⑥ 多文化共生教育に関する領域																		
	多文化共生教育の課題と実践	1・2		2			○			1									
多エスニシティ化社会の教育の課題と実践	1・2		2			○		1	1										
〈児童生徒支援コース科目〉																			
○学習支援に関する分野																			
学習支援の課題と実践Ⅱ	1・2		2			○		1	1										
教育評価の課題と実践Ⅱ	1・2		2			○			2										
授業分析実践	1・2		2			○		1	1										
○生活支援に関する分野																			
児童・生徒理解の課題と実践Ⅱ	1・2		2			○		1											
児童・生徒指導の課題と実践Ⅱ	1・2		2			○		1											
教育相談の課題と実践Ⅱ	1・2		2			○													
教育相談実習	1・2		1				○	1											

コース別選択科目	特別活動指導の課題と実践Ⅱ	1・2	2		○		2						
	心理・発達アセスメント実習	1・2	1			○	2						
	児童・生徒指導のためのロールプレイの技法と実習	1・2	1		○		2	1					
	○特別支援に関する分野												
	外国籍児童特別支援教育の課題と実践	1・2	2		○		1	1					
	発達障害児特別支援教育の課題と実践	1・2	2		○								
	○実践研究に関する分野												
	教育実践のリフレクション	2	1			○	4	1					
	児童生徒支援課題研究	1～2	4		○		4	2					
	〈学校運営コース〉												
○教育課程編制に関する分野													
カリキュラム開発の課題と実践Ⅱ	1・2	2		○		1	1						
○学校経営に関する分野													
学校経営の課題と実践Ⅱ	1・2	2		○		2							
学校経営計画ワークショップ	1・2	1			○	1							
スクール・リーダーシップの課題と実践	1・2	2		○			2						
教師の職能発達と学校経営	1・2	2		○		1	1						
多文化共生教育の理論と実践フィールドワーク	1・2	1			○		1						
○学校評価に関する分野													
学校評価の課題と実践	1・2	2		○		1	1						
○コンフリクト・マネジメントに関する分野													
学校危機管理体制構築の課題と実践	1・2	2		○		1	1						
○教育行政に関する分野													
地方教育行政の課題と実践	1・2	2		○		1							
○実践研究に関する分野													
学校経営のリフレクション	2	1			○	3	1						
○課題研究に関する分野													
学校運営課題研究	1～2	4		○		3	3						
実習科目	○課題研究実習		2										
	課題発見実習Ⅰ	1	1			○	3					単位数の改正(20)	
	課題発見実習Ⅱ	1	4			○	7	2				単位数の改正(20)	
	課題解決実習	2	5			○	7	5				単位数の改正(20)	

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
12	29		41					
[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	共通・分野別・実習	必修・選択・自由	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	共通・分野別・実習	必修・選択・自由	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

--

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{認可時の計画の授業科目数の計}} =$$

- (注) 1 「(1) 授業科目表」は、設置認可申請書の様式第2号(その2)に準じて作成してください。
- 2 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を朱書きで見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(21)」を「備考」欄に朱書きしてください。
なお、昨年度の報告において朱書きで見え消しとした部分については、黒字で記載してください。
- 3 授業科目を追加又は内容を変更する場合、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の提出日等を「備考」に記入してください。(今後、審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
- 4 「(2) 授業科目数」は、未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[]内に差し引き数を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: Δ1)
- 5 「(3) 未開講科目」は、配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- 6 「(4) 廃止科目」は、認可時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- 7 「(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」」欄には、授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。
- 8 「(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況

(荒牧キャンパス)

区 分	認可時の計画	変更状況	備 考
【施設】			
講義室	95室		大学全体
演習室	36室		大学全体
自習室	1室(26名収容) 【学生1人当たりの専有面積1.5㎡】		【利用時間】 終日24時間利用可能
図書室	座席数 815席		大学全体 【利用時間】 (平日) 9:00~21:00 (土・日) 9:00~17:00
パソコン室	12室		大学全体 【利用時間】 (平日) 8:30~20:00 (土) 10:30~17:00
教員研究室	91室	94室(94名収容、パソコン94台)	教育学研究科全体 ⑩教員採用者増による
【設備】			
図書	図書339,466冊【外国書59,785冊】 学術雑誌6,515種【外国雑誌1,436種】 視聴覚資料1,988点 機械・器具3,966点 標本160点		教育学研究科全体
その他設備			

4- (1) 既設大学等の状況

大学の名称	群馬大学							備考	
既設学部等の名称	修業 年限	入 定 学 員	編入学 定 員	収 定 容 員	学位又 は 称 号	定 員 超 過 率	開 設 年 度	所 在 地	
教育学部	年	人	年次 人	人		倍			
学校教育教員養成課程	4	220		880	学士(教育学)	1.03	H11	群馬県前橋市 荒牧町4-2	
社会情報学部			3年次					群馬県前橋市	
情報行動学科	4	50	10	220	学士(社会情報学)	0.95	H18	荒牧町4-2	
情報社会科学科	4	50	10	220	学士(社会情報学)	1.14	H18		
医学部			2年次					群馬県前橋市	
医学科	6	95	15	595	学士(医学)	1.00	S24	昭和町3-39-2	
			3年次						
保健学科	4	160	25	690	学士(看護学) 学士(保健学)	1.06	H8		
工学部(昼間コース)			3年次						
応用化学・生物化学科	4	170	30	510	学士(工学)	1.04	H19	群馬県桐生市	
機械システム工学科	4	70		210	学士(工学)	1.10	H元	天神町1-5-1	
生産システム工学科	4	40		120	学士(工学)	1.14	H19		
環境プロセス工学科	4	40		120	学士(工学)	1.08	H19	群馬県太田市	
社会環境デザイン工学科	4	40		120	学士(工学)	1.08	H19	本町29-1	
電気電子工学科	4	70		210	学士(工学)	1.08	H元	(生産システム工学科のみ)	
情報工学科	4	50		200	学士(工学)	1.07	H元		
応用化学科	4	—		—	—	学士(工学)	—	H元	平成19年度より募集停止
材料工学科	4	—		—	—	学士(工学)	—	H元	平成19年度より募集停止
生物化学工学科	4	—		—	—	学士(工学)	—	H元	平成19年度より募集停止
建設工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—	H元	平成19年度より募集停止	
工学部(夜間主コース)									
生産システム工学科	4	30			学士(工学)	1.13	H19	群馬県太田市	
応用化学科	4	—			学士(工学)	—	H元	本町29-1	
生物化学工学科	4	—			学士(工学)	—	H元	(生産システム工学科のみ)	
機械システム工学科	4	—			学士(工学)	—	H元	平成19年度より募集停止	
電気電子工学科	4	—			学士(工学)	—	H元	平成19年度より募集停止	
情報工学科	4	—			学士(工学)	—	H元	平成19年度より募集停止	

大学の名称	〇〇短期大学								備考
既設学部等の名称	修業 年限 年	入定 学員 人	編入学 定員 年次 人	収定 容員 人	学位又 は称号	定員 超過率 倍	開設	所在地	

(注) 1 本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が、すでに設置している大学の学部、学部の学科、短期大学の学科及び高等専門学校学科について、大学、短期大学又は高等専門学校ごとに、状況を記入してください。

(大学院及び短期大学の専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。)

2 認可申請書の様式第2号(その1)に準じて作成してください。

3 「定員超過率」欄には、各修業年限に相当する期間(学年進行中の場合は、設置後経過した年数分)における入学定員超過率の平均を記入してください。

入学定員超過率については、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。

なお、学生募集停止中の学部等については、「-」を記入するとともに、「備考」欄に「平成〇年度から学生募集停止」と記入してください。

4- (2) 既存の教員養成分野における研究科等の状況

【教育学研究科障害児教育専攻 (M)】

(単位:人)

区 分		平成20年度	平成21年度	備 考
入 学 者 数	現 職 教 員	派遣制度	1	
		修学休業制度	1	
		勤務継続		1
		その他		
		小計 (a)	2	1
	学部新卒者 (b)	1	2	
	社会人学生 (c)		1	
	計 (d=a+b+c)	3	4	
入学定員 (e)		3	3	
定員超過率 (d/e)		1.0	1.3	

【教育学研究科教科教育実践専攻 (M)】

(単位:人)

区 分		平成20年度	平成21年度	備 考
入 学 者 数	現 職 教 員	派遣制度	3	3
		修学休業制度		1
		勤務継続		
		その他		
		小計 (a)	3	4
	学部新卒者 (b)	24	23	
	社会人学生 (c)	1	3	
	計 (d=a+b+c)	28	30	
入学定員 (e)		20	20	
定員超過率 (d/e)		1.4	1.5	

(注) 1 学生募集停止中の研究科・専攻等については、「-」を記入するとともに、「備考」欄に「平成〇年度から学生募集停止」と記入してください。

6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
認可時 (平成20年4月)	1. 設置の趣旨・目的等が活かされるよう、設置計画を確実に履行すること。また、学術の理論及び応用を教授研究するという大学院の目的、さらに理論と実践を融合して専ら小学校、中学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校及び幼稚園の高度の専門的な能力及び優れた資質を有する教員の養成のための教育を実施するという教職大学院の目的に照らし、開設時から充実した教育研究活動を行うことはもとより、その水準を一層向上させるよう努めること。	設置の趣旨・目的等が活かされるよう、設置計画に沿って準備を進めた。平成19年12月27日に教職大学院の授業を担当する専任教員（みなしを含む）と関係事務職員が一堂に会して、教職大学院の趣旨・目的を再確認するとともに、チームティーチングで実施する授業について、研究者教員と実務家教員が打ち合わせを行った。教職大学院の入学予定者が転専攻も含めて確定した2月6日の臨時研究科委員会以降、各自が取り組む課題を踏まえて1年次における実習校の割り振りを行い、それに基づいて実習校との連絡・調整に取り組み、受け入れ体制を整えることができた。また、3月17日の研究科委員会では、教職大学院の運営に係る5つの規定等を決定し、開設時から充実した教育研究活動を展開し、またその水準の向上を図ることを可能にするシステムを整備した。(20)	
		設置の趣旨・目的等が活かされるよう、設置計画に沿って履行した。さらに、充実した教育研究活動の水準の一層の向上のために、平成20年度第5回専門職学位課程運営委員会（平成21年3月3日開催）において、自己点検・評価部会を新たに設置することが決定された。(21)	
	2. 学生が各年時にわたって適切に授業科目を履修するため、1年間に登録できる単位数について、単位の実質化の観点から再検討し改善すること。	1年間に履修登録できる単位数の上限について、設置申請当初は48単位としていたが、単位の実質化の観点から、40単位に削減した。(20)	
		1年間に履修登録できる単位数の上限40単位を継続している。(21)	
	3. 現職教員学生が現勤務校で実習を行う場合、主担任になることが学生の負担とならないよう教育委員会等と協議するなど配慮すること。	現職教員は2年次に勤務校で実習を行う予定であるが、その場合、研修日を設け、そこで実習を実施することになっている。この点について、平成20年3月19日に県教委学校人事課と協議を行い、「新年度の適当な時期に現職教員の勤務校の校長、勤務校のある市町村教委、県教委学校人事課、群馬大学の教職大学院教員が一堂に会して実習の趣旨の確認、実習の進め方、校務分掌上の配慮等について共通理解を図る」ことになった。例えば学級経営に関することを課題として取り組む場合のように、主担任である方が取り組みやすく、成果も期待できることがあるので、その際には、副担任のサポートを手厚くしたり、校務分掌上の負担を軽減したりする必要があると考えている。この点については、上記の協議を通して、学校や教委の理解を得る予定である。(20)	
		第2回教職大学院連携協議会（平成21年1月28日開催）において関係者が一同に会し、現職教員学生の勤務校での実習の趣旨の確認、実習の進め方、公務分掌上の配慮等について共通理解を図った。さらに、3月下旬に現職教員学生の勤務校に指導教員（研究者教員1名、実務家教員1名の2名）が出向き、勤務校の校長に現職教員学生の課題研究テーマおよび実習の趣旨について詳細に説明し、課題解決のための実践が確実に勤務校で実施できるための配慮等について共通理解を図った。その結果、各勤務校で学生の課題研究テーマにそった実践が実習で可能になるよう公務分掌上の配慮を頂いた。(21)	

設置計画履行状況 調査時 (平成21年4月)	該当なし		
------------------------------	------	--	--

- (注) 1 「認可時」欄には、当該大学等の設置認可時に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、毎年度、具体的に記入し、報告年度（丸数字）を付記してください。
- 2 「設置計画履行状況調査時」欄には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について、毎年度、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料を添付してください。
- 3 入学定員超過に係る留意事項への履行状況については、4月20日現在で記入してください。
- 4 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。